

▼東北
の活動だより

城下町・黒石を訪ねて

青森交流会

田沼 孝(RAB)

令和3年10月21日会員7名で金平成園(かねひらなりえん)を訪ねました。

明治中期に作庭された津軽地方特有の「大石武学流」回遊式庭園のある城下町に相ふわさしいお屋敷です。



金平成園の庭を背景に

お庭を充分鑑賞した後、料亭「富士見館」に席を移し美味しい昼食をいただきました。富士見館の由来は、津軽富士・岩木山を眺望できることから名付けられたそうです。

集まれば現役時代の思い出話になり、日テレ系列の「11PM」の青森からの同時生中継の苦労話など面白い話題に花が咲きました。

これまでもご当地でありながら仲々行かない処、「棟方志功記念館」とか世界遺産の「三内丸山遺跡」などを選んで青森の会員交流の場としてきましたが、これからも工夫しながら交流会は続けていきたいと思っております。

会員の平均年齢が少し上がってきましたが皆元気でおります。次回を楽しみに散会しました。

山寺・石段一〇七〇段を完登

八巻 健(TBC)

東北の歩こう会は、山形市山寺の1070段の石段を登り、天空の眺望を体感してきました。

仙台からの足はJR仙山線、所要時間は約1時間です。歩こう会16名が訪ねたのは10月22日、透き通るような青空が広がる日でした。歩こう会は山寺駅から登山口へ直行。重要文化財・根本中堂を参拝し参道の石段を目指します。

芭蕉の句碑を見つけました。

閑さや岩にしみ入る蟬の声

俳聖・芭蕉が曾良を伴って山寺を訪れたのは元禄2年7月です。今も緑の中に白い岩肌が随所にあり、岩場の上にはお堂が立っていました。



山門前での皆さん

延々と続く石段の参道。揃いの赤い帽子を被った幼稚園児たちはピョンピョン跳ぶように登っていました。対して、我々は手すりを頼りに高度稼ぎです。

山寺随一の眺望を誇る五大堂。時を忘れて見入ってしまった。

汗を流した後の楽しみはランチタイムです。冷えた飲み物と山寺名物の玉こんにやくなどを肴に歓談を楽しみました。

川柳同好会

温暖化 地球滅亡 明日かも

岡部信義(MMT)

まずスマホ頭の体操 ままならず

佐藤隆雄(ATV)

新年は慶事がつづくよう

祈ります

鈴木孝志(MMT)

バリウムもカメラも「おやつ」

七十五

鈴木俊光(TBC)

三箇日 あれこれそれの

御爺さん

曾根徳英(TBC)

どこ見ても悪いところが

ないと医者

達増崔夫(TVI)

コロナ減り 小路の飲み屋

人増える

丹野 稔(MMT)

牡蠣食えば 鐘は鳴らぬが

磯香満つ

山並秀昭(OX)

近道も「ちかんに注意」の

看板が

横山まん平(TBC)

睨めっこ 猿の素肌の 美しさ

吉岡徹也(TBC)